

男女共同参画推進事業【神奈川県横浜市】

地域の実情と課題

- ・市内企業の課長級以上の女性管理職の割合は17.2%（令和2年度横浜市男女共同参画に関する事業所調査）にとどまっている。
- ・横浜市のM字カーブ（平成27年度国勢調査）は25～29歳が82.9%、35～39歳が66.2%と、全国に比べてM字の底が深い。
- ・市内大学における理工系学部の女子学生比率は17.2%であり、理工系を進路に選択する女子学生が少ない。

事業の特徴

- ①市内の働く女性が、ロールモデルの話を聞くことや交流することができる、「横浜女性ネットワーク会議」を開催
- ②女性活躍や働き方改革の取組により働きやすい職場環境づくりを積極的に進める市内企業等を「よこはまグッドバランス賞」として認定、経営者向けに女性管理職登用に関する理解を深めるセミナー動画をオンラインで配信
- ③理工系の職場で活躍する若手女性技術者の等身大の話を聞くことや交流することができるオンラインイベントを開催

事業の効果

- ・横浜女性ネットワーク会議の参加者からは、目標を明確に持って突き進むパワーをもらった、現場で頑張っていくヒントをいただいた等の声があった。
- ・よこはまグッドバランス賞の認定企業からは、本制度への応募が、働きやすい職場環境づくりについて改めて考え、自社の不足している部分に気付く機会になった、という意見があった。
- ・中高校生に対して理工系分野に興味を持つ機会を提供することができた。

目的・目標

- ①横浜女性ネットワーク会議を開催【参加者 目標:200名 達成状況:117名(378回配信視聴)】
- ②市内企業等を「よこはまグッドバランス賞」として認定、女性管理職育成セミナーを配信、既卒女性と認定企業とのオンラインイベントを実施【認定企業数 目標:220社 達成状況:205社】
- ③理工系の職場で活躍する女性ロールモデルとのオンライン交流イベントを開催【参加者 目標:100名 達成状況:115アカウント】

連携団体

- ・横浜市女性活躍推進協議会
（市内経済団体及び有識者による協議会）
- ・神奈川県
- ・神奈川労働局
- ・日本女性技術者フォーラム

今後の課題

女性管理職の増加や働きやすい職場環境づくり、理工系分野の女性人材の増加に向けた取組みをさらに推進するため、より多くの方に取組みを知ってもらうように、事業の周知を強化する必要がある。

事業の概要

横浜女性ネットワーク会議

■女性の管理職を増やすため、女性のキャリアアップへの意識啓発や企業の枠を超えたネットワークの形成を支援し、市内の様々な役職、職位、職業の働く女性が、ロールモデルの話を聞くことや交流を行うことができるイベントを開催しました。

【プログラム内容】

会場：パシフィコ横浜 会議センター

参加費：無料

<基調講演>

テーマ：自分らしく生きる～脳科学からのヒント～

講師：中野 信子 氏(脳科学者)

<分科会>

テーマ：今こそ、意思決定層に女性を ～わたしたちの未来をつくるヒント～

パネリスト：浜田 敬子 氏(ジャーナリスト、前Business Insider Japan統括編集長、元AERA編集長)

井原 徹 氏(日産自動車株式会社 常務執行役員人事責任者代行、ダイバーシティディベロップメント、組織開発、秘書室 担当)

島 由希子 氏(京浜急行電鉄株式会社生活事業創造本部開発統括部長)

小田島 真従 氏(株式会社ファンケルファンケル大学教育企画部 教育企画運営グループ課長)

モデレーター：小安 美和 氏 (株式会社Will Lab代表取締役)



事業の概要

よこはまグッドバランス賞

■女性活躍や働き方改革の取組により働きやすい職場環境づくりを積極的に進める市内企業等を「よこはまグッドバランス賞」として認定し、認定企業の取組を広報しました。

■認定企業の経営者向けに、女性管理職登用に関する理解を深めるセミナー動画をオンラインで配信しました。

■転職・再就職を考える既卒女性等を対象によこはまグッドバランス賞認定企業との接点創出のためのオンラインイベントを開催しました。



理工系女子応援事業

■民間企業等と連携し、中高校生やその保護者、教員を対象に、理工系分野の職場で活躍する若手女性技術者によるパネルディスカッション等オンラインイベントを開催しました。

【プログラム内容】

ZOOMウェビナーによるオンライン開催

参加費：無料

テーマ：「私が理工系の道を選んだ理由」

1. パネルディスカッション
2. ワークライフバランスのサポート動向について
3. 視聴者からの質問
4. パネリストからのメッセージ

